



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 令和4年9月30日
発行者 校長 大野 良子

No. 375 10月号

子供たちの心に残る学習や行事に

副校長 水野 美津子

9月10日（土）、3年ぶりとなるPTA主催の「おぐにしまつり」が行われました。「おぐにしまつり」は校庭でスーパーボールすくい、コイン落とし、そして全身びっしょりになって行う水鉄砲など子供たちがとても楽しみにしている行事です。（先生方も水着・ゴーグルを装備？し一緒に参加しました。）参加した子供の数は300人を超え、PTAの方々も「開催できてよかったです。」とおっしゃっていました。

その日、職員室に1件の電話がありました。「僕は、昨年度卒業生の〇〇ですが、昨年おぐにしまつりが中止になりぼくたちは経験できなかったの、今年参加してもよいですか？」と。「もちろん、よいですよ。」と言いたいところですが、コロナ感染防止対策で保護者の方の参観もお断りし、子供だけの参加に限定しての開催でしたので「ごめんなさい。中学生は参加できません。」と答えました。電話口の中学生はとてもがっかりした声で「分かりました。」と電話を切りました。電話を切った後、「コロナ禍で子供たちが楽しみにしていた行事が一体いくつできなくなっただろう？私たち教師は、代替の行事や学習を考えて取り組んできたけれど、どれだけ子供たちの心を満たすことができたでしょうか？」と考えてしまいました。そして、改めて「子供たちのためにこれからも一つ一つの授業や行事を大事にしていけないといけない。」と強く思いました。



さて、街角ではどこからともなく金木犀の香りが漂い、秋空が気持ちよく澄み渡り、食卓には秋の味覚がならび、スポーツ・読書・芸術と何をするのも心地よい季節となりました。10月は尾久西小でも体力向上努力月間、読書月間として様々なことに取り組みます。先日、荒川区立図書館から家読ブックリスト「うちリス」が配布されました。

いろいろないろ いろいろなこせい いろいろなふしぎ いろいろなきもち いろいろなせかい に項目が分かれており家読におすすめの本が紹介されています。夏休みも多くのご家庭で家読に取り組んでくださりました。ご自分が小さいときに読んだ大好きな本を子供といっしょに交互に読んだご家庭、関西弁で書かれた本と一緒に読み合いしばらく関西弁で会話を楽しんだご家庭、妹に絵本を読んで聞かせた6年生など感想カードを読んでいると様々な体験が子供たちの心を豊かにしていると感じました。ぜひ、秋の夜長、ゆっくりと家読に取り組んでいただけたらと思います。